



顧客の目標設定をしよう



「ペルソナを設定しよう」の回でペルソナを設定できたかと思います。
そのペルソナはただ設定するだけでは何の意味もありません。

自分の中でペルソナを認識できており

『ペルソナはどんな人？』

と聞かれた時に何も見ることなしに

どのような人が答えれる状態まで落とし込んでください。

そのペルソナには現状不満があり、理想、目標があります。

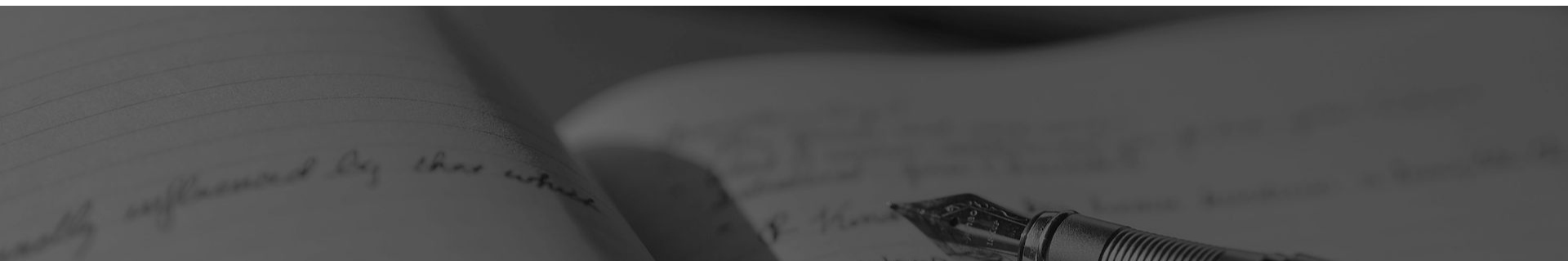
そのペルソナが現状から理想に移行するための価値提供をあなたがするのです。

いわば『ペルソナの理想のためのオーダーカリキュラム』を作ります。

ペルソナを助けるだけのための商品でいいのです。

そうすることで一貫性が生まれます。

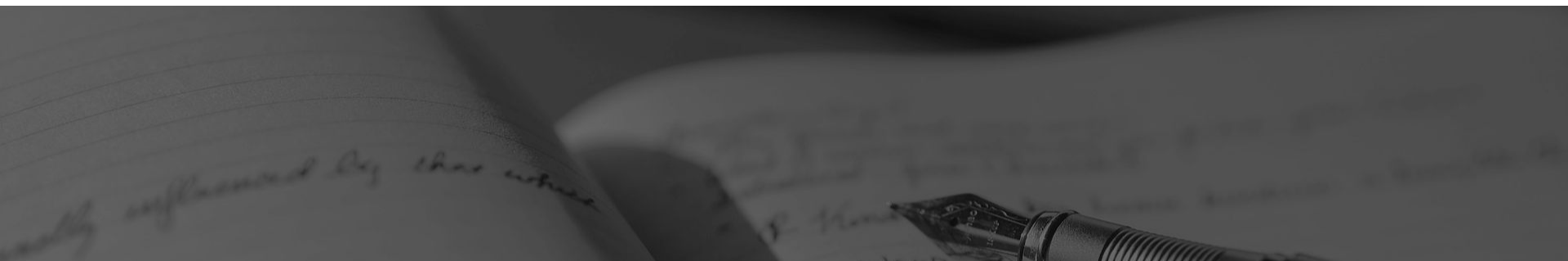
これがペルソナを設定した狙いです。



顧客の目標設定をしよう

今回のフェーズは

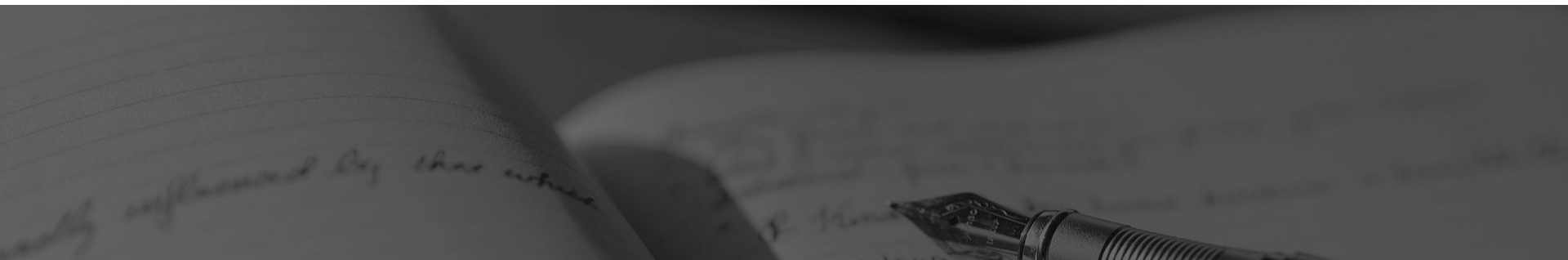
前回決めたペルソナのためのカリキュラムを販売していくにあたって
まずそのサービス、商品のゴール
つまりペルソナ(顧客)の目標、**理想**を明確にしていきます。



顧客の目標設定をしよう


そこで今回は目標達成のための「**マンダラート**」を用いて
ペルソナ(顧客)の目標設定を行います。

これは目標設定から実現までのプロセスを細分化し明確にできる
フレームワークになります。



INDEX.

1. マンダラートとは
2. マスを埋めることで発想が広がる
3. マンダラートの基本形
4. 大谷選手を一流にしたマンダラート
マンダラートの記入方法の流れ

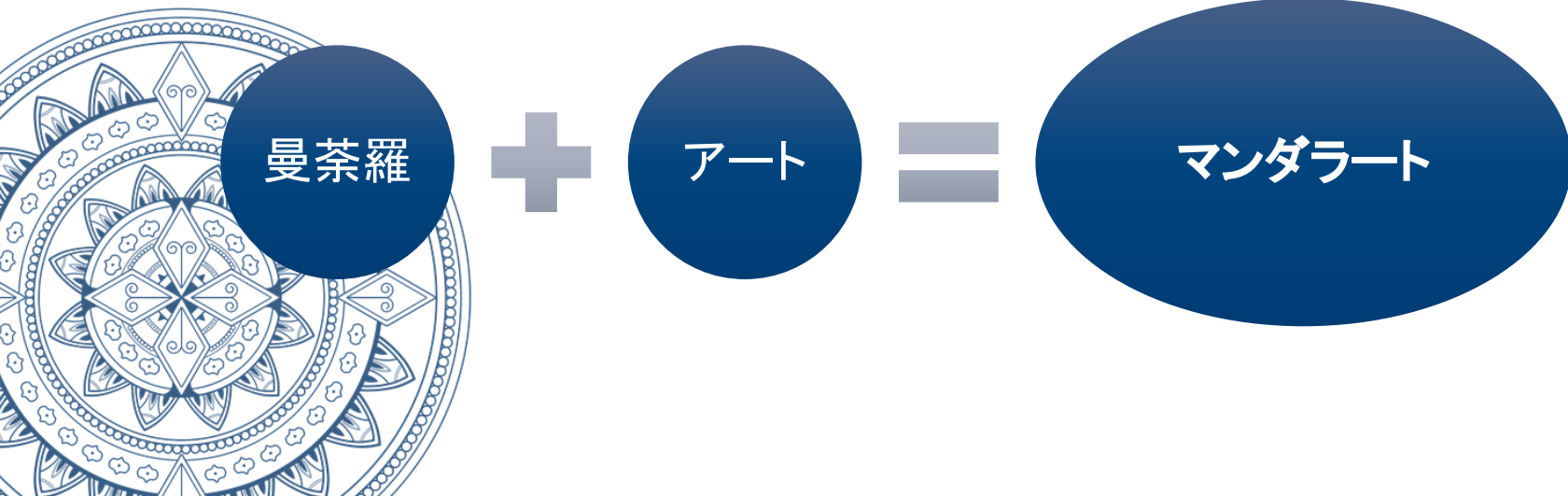
A close-up photograph of a person's hands writing on a white notepad with a yellow highlighter. The person is wearing a blue long-sleeved shirt and a black watch. The background is slightly blurred, showing a laptop and a desk. A semi-transparent white box is overlaid on the center of the image, containing the text '1. マンダラートとは'.

1. マンダラートとは

1. マンダラートとは

マンダラートは、仏教に登場する曼荼羅模様由来のもので、**曼荼羅模様**に似たマス目に**アイデア**を書き込んでいくことで自然に**アイデア**を広げていくことができる技法のことです。

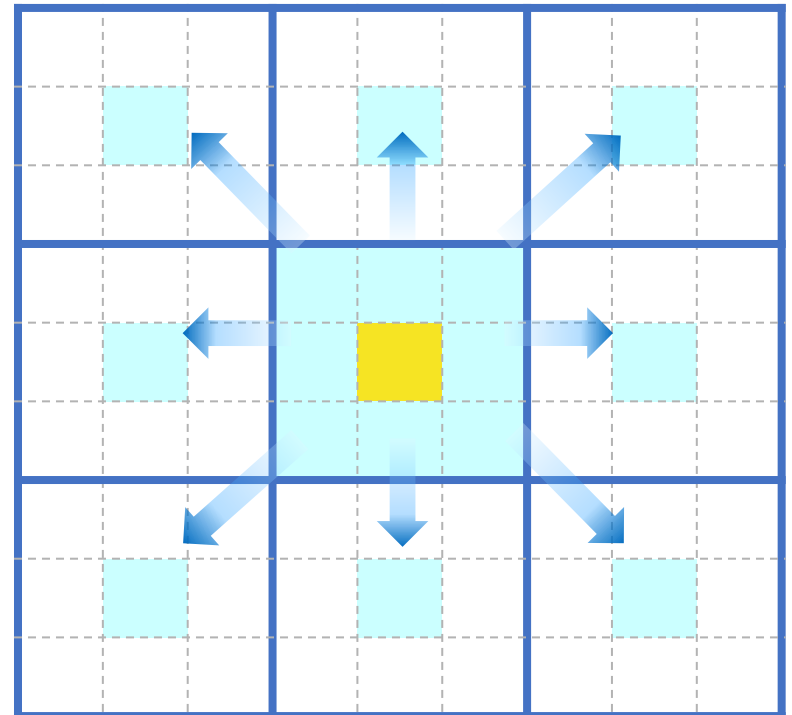
曼荼羅+アートという造語でマンダラートと名づけられました。

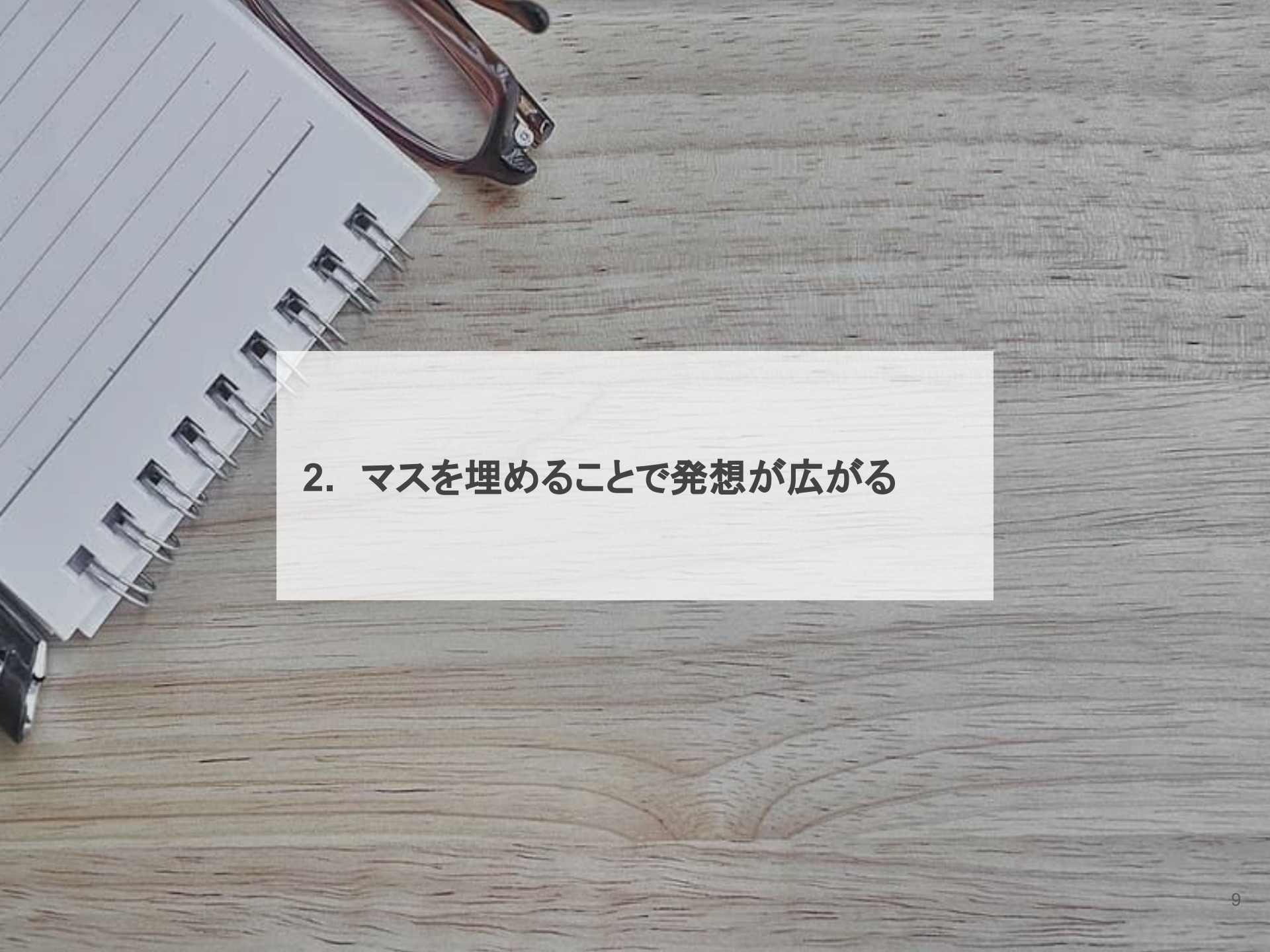


1. マンダラートとは

デザイナーでヒロ・アートディレクションズという会社の代表を務める今泉浩晃氏が開発したもので、アイデアに詰まった時などに半ば強引に派生語句を出していくことができるユニークな方法論です。

本物の曼荼羅で表現される幾何学的模様のパターンが似ているという発想はデザイナーならではのかもしれません。

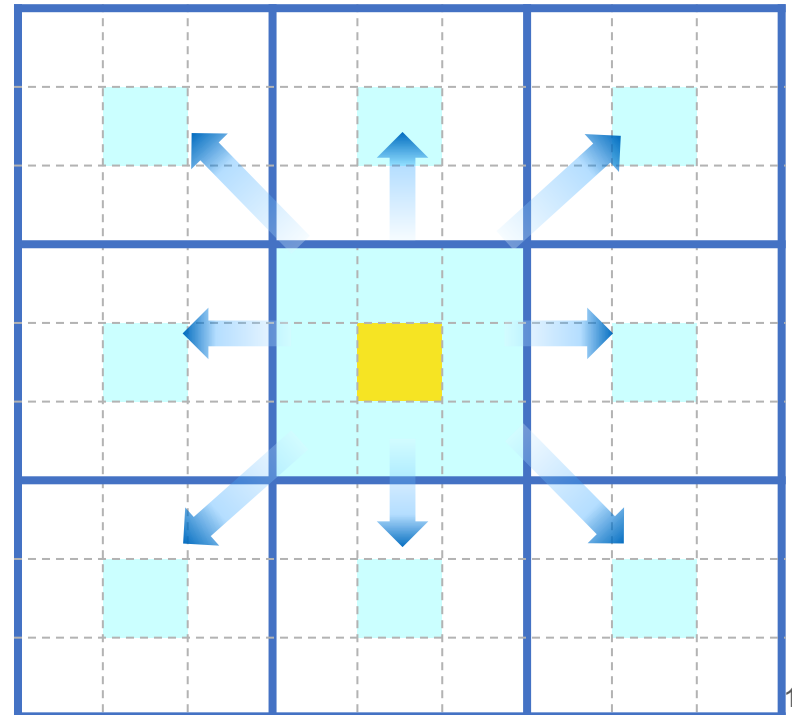
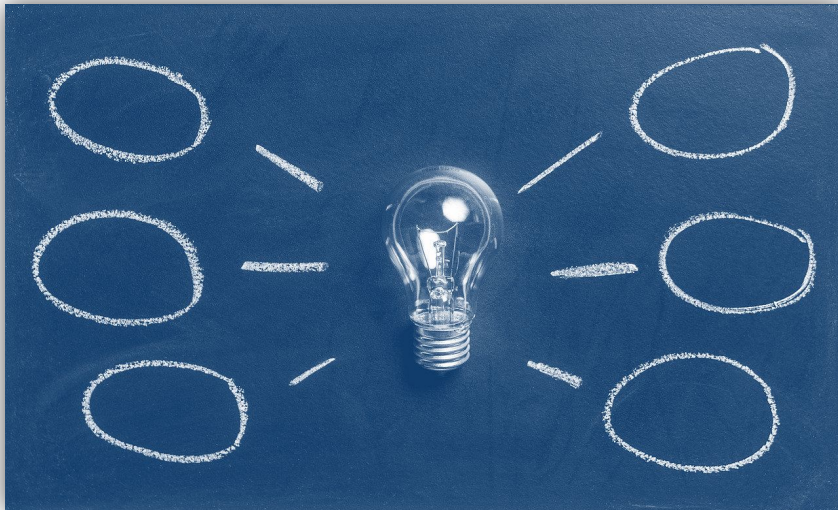


A photograph of a spiral-bound notebook and a pair of glasses resting on a light-colored wooden surface. The notebook is open, showing lined pages. The glasses are positioned above the notebook. A white rectangular box is overlaid on the notebook, containing the text.

2. マスを埋めることで発想が広がる

2. マスを埋めることで発想が広がる

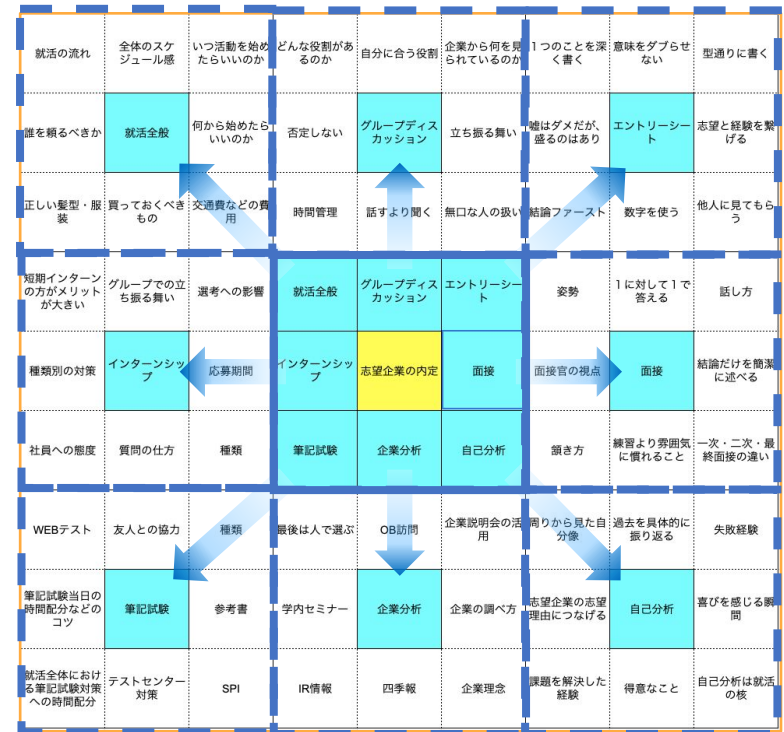
マンダラートは仏教の曼荼羅のように正方形を均等に区切ったマス目の中で思考を広げていきます。



2. マスを埋めることで発想が広がる

「就職活動」テーマでマンダラートを広げたものが右のようになった例があります。

中央の9マスの中心にあるのが**メインテーマ**でそこから周辺の8マスに関連語句を書き入れ、それぞれの関連語句から周囲に9マスを作り、そこにもさらに派生語句を書き入れていきます。



2. マスを埋めることで発想が広がる

たった1つのテーマから合計で

81 マスが埋まり、そこから64個の
関連語句がひねり出されました。

ここからアイデアとしてまとめるのに
有用なものを拾い上げていくのが、
マンダラート思考法です。

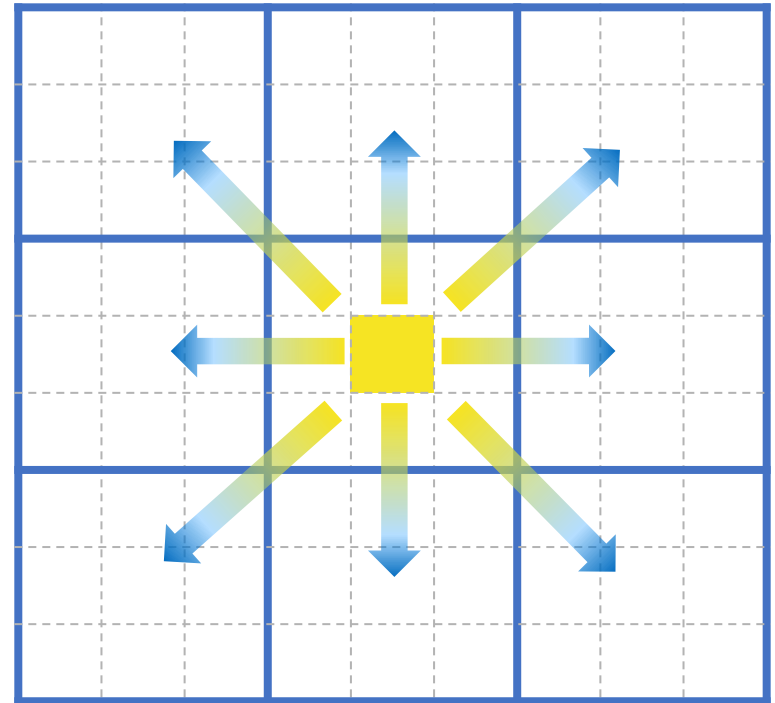
就活の流れ	全体のスケジュール感	いつ活動を始めた方がいいのか	どんな役割があるのか	自分に合う役割	企業から何を見られているのか	1つのことを深く書く	意味をダブらせない	型通りに書く
誰を頼るべきか	就活全般	何から始めたらいいのか	否定しない	グループディスカッション	立ち振る舞い	難はダメだが、盛るのはあり	エントリーシート	志望と経験を繋げる
正しい髪型・服装	買っておくべきもの	交通費などの費用	時間管理	話すより聞く	無口な人の扱い	結論ファースト	数字を使う	他人に見てもらう
短期インターンの方がメリットが大きい	グループでの立ち振る舞い	選考への影響	就活全般	グループディスカッション	エントリーシート	姿勢	1に対して1で答える	話し方
種類別の対策	インターンシップ	応募期間	インターンシップ	志望企業の内定	面接	面接官の視点	面接	結論だけを簡潔に述べる
社員への態度	質問の仕方	種類	筆記試験	企業分析	自己分析	傾き方	練習より雰囲気慣れること	一次・二次・最終面接の違い
WEBテスト	友人との協力	種類	最後は人で選ぶ	OB訪問	企業説明会の活用	周りから見た自分像	過去を具体的に振り返る	失敗経験
筆記試験当日の時間配分などのコツ	筆記試験	参考書	学内セミナー	企業分析	企業の調べ方	志望企業の志望理由につなげる	自己分析	喜びを感じる瞬間
就活全体における筆記試験対策への時間配分	テストセンター対策	SPI	IR情報	四季報	企業理念	課題を解決した経験	得意なこと	自己分析は就活の核



3. マンダラートの基本形

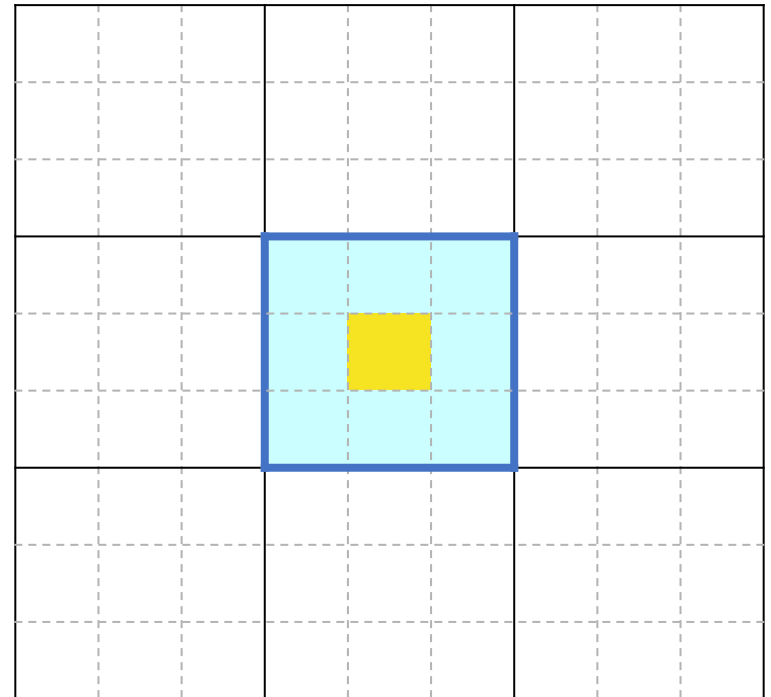
3. マンダラートの基本形

マンダラートの基本形は、
中央にある**メインテーマ**から周囲に
派生していくイメージ
を持ってください。



3. マンダラートの基本形

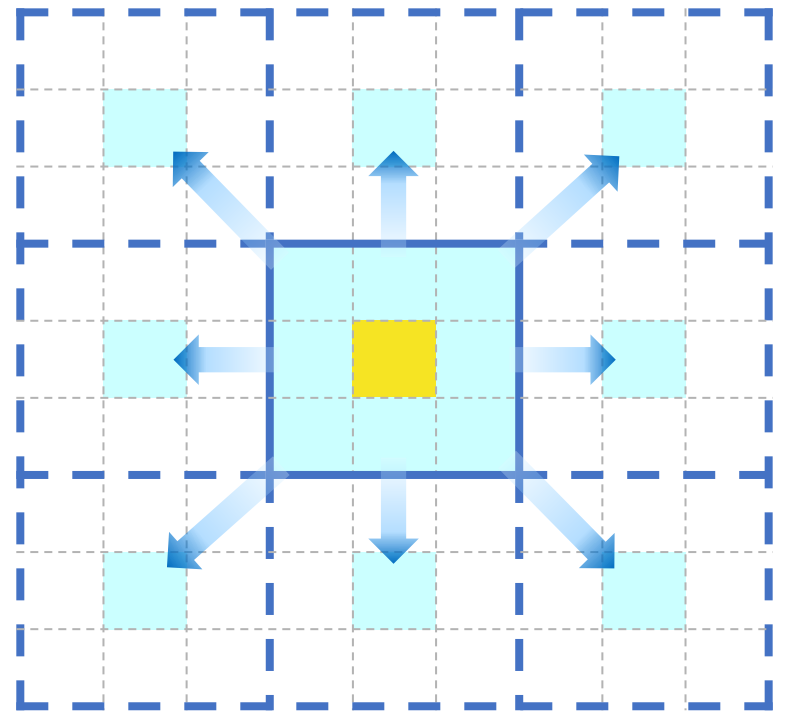
まず、**メインテーマ**の周りに
連想した語句を 8 個埋めて、
それぞれの語句が小テーマとなった
9 マスを作っていきます。




3. マンダラートの基本形

この要領で最初の 9 マスの周りに
9 マスを並べると合計 81 マスが作られ、そ
れぞれのマスに入っている語句はすべて**メイ**
ンテーマに関連があるものということになりま
す。

これがマンダラートの全容なので、
最終的にこの形を作るということを
押さえておいてください。





4. 大谷選手を一流にした マンダラート

4. 大谷選手を一流にしたマンダラート

プロ野球の大谷翔平選手といえば、二刀流の大活躍でおなじみです。

これまでのプロ野球選手という概念に当てはまらないほどの超一流選手ですが、たまたま才能に恵まれた選手ではないことが分かるエピソードがあります。

それが、マンダラートです。



4. 大谷選手を一流にしたマンダラート

大谷選手は高校生の頃に

プロ野球選手になる自分を明確にイメージするために

今は何をすべきかという目標設定をしています。

その目標を達成するために必要なことをマンダラートで書き出しました。



4. 大谷選手を一流にしたマンダラート

右がその時に作成された
マンダラートです。

このマンダラートはとても有名で
マンダラートを解説するための
見本としてもよく用いられています。

それだけよくできている
マンダラートだということは、
その中身を見れば一目瞭然です。

大谷翔平選手

体のケア	ケガの予防	FSQ 90kg	足の改善	体幹強化	軸を固める	肩甲骨の可動域	上半身の強化	リストの強化
柔軟性	体づくり	RSQ 130kg	ウエイトの安定	コントロール	力をこめず	力まない	キレ	自身主導
スタミナ	可動域	老若無差別 朝3杯	下腿の強化	体を開かす	上半身の可動域	下半身の可動域	回転動作	可動域
集中力	喜怒哀楽	頭は冷静 心は熱く	体づくり	コントロール	キレ	軸を固める	下腿の強化	体重増加
心強い	メンタル	楽観的に 流れる	メンタル	ドラゴン 8球団	スピード 160km/h	体幹強化	スピード 160km/h	肩甲骨の強化
変えられない	勝利への執念	仲間を 思いやる	人間性	運	変化球	可動域	ライナー ヒット	ランニング を増やす
感性	愛の人間性	計画性	お金の	丁寧	節度	コントロール を増やす	スイング 完成	スイング のキレ
思いやり	人間性	感謝	直球を 大切に使う	運	節度	コントロール を増やす	ランニング を増やす	ランニング を増やす
礼儀	信頼の人間性	継続力	考えを 深める	人間性	本を読む	コントロール を増やす	ランニング を増やす	ランニング を増やす

4. 大谷選手を一流にしたマンダラート

大谷選手という超一流のプロ野球選手が才能や偶然だけではなく、極めて戦略的に生み出されたということお分かりいただけると
思います。

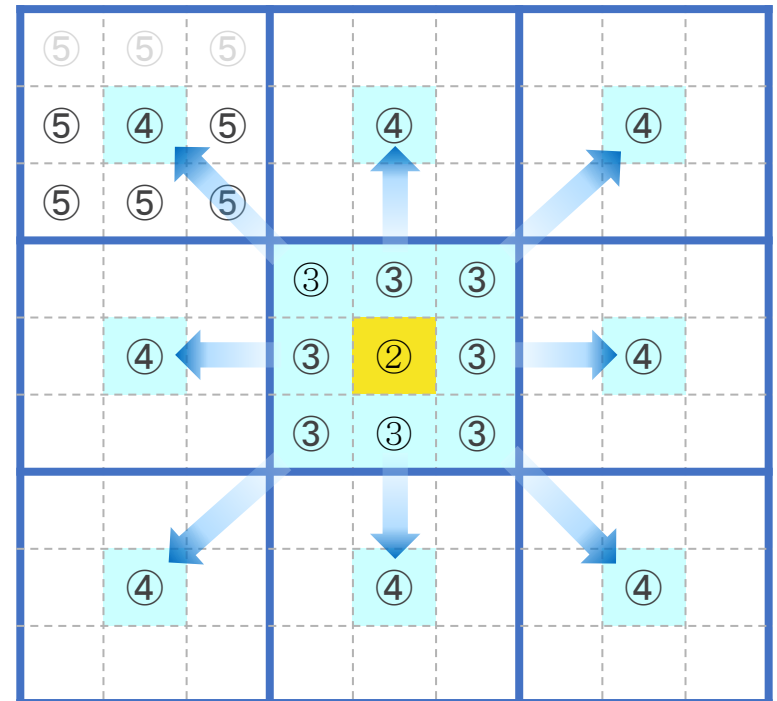
このように、マンダラートは目標設定と達成のためのプロセス構築
にもとても役立ちます。



目標設定シートの作り方

マンダラートの記入方法の流れを簡単にまとめると以下のようになります。

①	「顧客の目標設定をしよう」のシートを開く
②	マスの中心に「 ペルソナの目標 」を書く
③	中心を囲む8マスに中心に書いた目標を達成するために必要な要素を書いていく
④	③で上げた8要素を外側にある3×3マスの中心に書きうつす
⑤	それらの要素を達成するために必要なことを、要素の周りの8マスに書いていく



深く考えず、まず順番は特に考えず

どんどん書き出せるところから、どんどん書いて行きましょう！